

令和5年度

みたかや

# 羽生市立三田ヶ谷小学校

## お米の未来を救おうプロジェクト



パッケージに  
ラベル取り付け

販売の様子



完売記念写真



第4・5学年

### 特色

- お米の消費量を増やすために、羽生市にある洋菓子店と協力、連携をして自分たちで考えた米粉のお菓子を製造してもらい、本校の150周年記念式典で地域の人や保護者に販売する活動を行った。売上金の使い道も児童全員で話し合い、来年度入学する1年生にお米に関する本を購入することができた。

### 児童の感想

- 自分たちで提案したお菓子が本当に形になり、とてもうれしかった。そして自分たちでお客様に売ることができて、すごく楽しかった。色々な人に喜んでもらい、お米に興味をもってもらうことができて、本当に楽しい時間だったし、いい経験になった。

### 成果

- 児童が考えたお菓子をお店の方にプレゼンする際には、目的意識をもち相手に伝わりやすい資料を意識して作ることで、プレゼンテーション能力の向上が見られた。販売時には、お客さんとの関わりを通してコミュニケーション能力を、売上金の使い道を考える際には金銭感覚を育むことができた。お菓子に2次元コードを付け、お菓子の感想やプロジェクトの成果についてアンケートを取り、洋菓子店と共有したことも成果であった。